

## 令和3年度 事業所自己評価結果の公表

公表: 令和4年3月31日

アンケート期間: 令和4年 2月 22日～令和4年 3月 7日

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

チェック項目		保護者等数(児童数)13名			
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースは十分に確保されていますか。	10	3		
	2 職員の配置数や専門性は適切ですか。	12		1	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	11		2	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	10	1		2

## 事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

回答職員数 5名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		お子さんの動きに適和感があつたらすぐに周りの職員に相談、環境設定の見直しを行なっている。また、変更があつた際はすぐに日報やホワイトボードにて共有している。	コロナウィルス蔓延に伴い、お子さんの衛生面での安全配慮と特性に合わせた設定を相互的に叶えることが部屋の関係上難しい。一部屋全件の使い方の見直しを行う。
	2 職員の配置数は適切である	5		アルコールで消毒したり拭いていたりして清潔に保つよう心がけている。	おもちゃなど増えて棚の上に積んでしまって、収納を工夫したい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5		収納場所を工夫し、子どもたちに必要な玩具などを出し入れしやすいようにした。身支度の動線を検討し、都度パーテーションで区切るなど工夫した。	玩具が増えがちなので収納がいっぱいになってしまって、探しにくい。安全面でも不安があるので適宜入れ替えるなどして整理をしたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		月次以外に、業務日報にてお子様の対応についての更新をこまめに行なっている。	常勤の全体研修以外にも教室内でケース会議や活動のモニタリングを実施したい。お子様との関わり方や活動の進め方、興味関心などを客観的に振り返る時間を作る。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	変更事項が分かりやすいよう、必要な場合は室内に掲示している。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか。		13			
6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。		13			
7 個別支援計画に沿った支援が行われていますか。		13			
8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。		13			
9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか。		4	1		8

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	5			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	11 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		活用内容のマンネリを防ぐため、さまざまな活動内容を設定するグループと繰り返しの中でしせつ理解を深めていくグループで内容の決め方を変えている。	非常勤スタッフが対応方法を把握していない場合を想定しての指示出しを含むロールプレイを行えるようにする。
	12 個別支援計画に沿った支援が行われている	5		やってみたいと思った活動は試作やスタッフが実際にゲームをするなどの時間を設け進め方や手順などを常勤間で頻繁に検討している。	アセスメント項目の統一化をして、どの教室でも内容の質を担保できるようにする。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		業務日誌で振り返り、ヒヤリハット、明日以降の引き継ぎを共にしている。	子どものタイプに幅があり、どういったアセスメントツールを使っていくか全教室で検討し統一したほうがよいと思う。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		集団活動でも個々のレベルに応じてねらいを変えることを職員間で相談して行なっている。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成している	5			
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1		
	20 障害児相談事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		関係機関から連絡があつた際、可能な方法で共有や連携を図っている(コロナ感染リスクを考慮した方法で)。	コロナウィルス蔓延防止のため機関との連携が来年に比べてより希薄だった。情報共有のやり方を抜けたい。
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		連絡帳やハガシステムで連絡があつた際にはスタッフ間で読み上げや伝達を行い、どのスタッフもその日の利用児の特記について周知している状況にしている。	保護者向けのペアレントトレーニングの研修が実施できていない。
	24 他の児童発達支援センター・児童発達支援事業所・癡聴障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		連絡帳に具体的な様子を表記し、フィードバックの際に可能な限り動画や写真などを活用してわかりやすく様子をお伝えするようしている。	
	25 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		動画や写真などを用いて日々の様子を見せながらできていること、課題について説明している。	
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5			
	27 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	3		

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	12	1		
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	12	1		
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができますか。	13			
	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	11	2		
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の連携が支援されていますか。	6	3		4
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていますとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	12	1		
	定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		
	個人情報の取り扱いに十分注意されていますか。	10			3

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	5			
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	33 父母の会の活動の支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		電話での相談に即時対応し、返答や助言だけでなく、教室内で対応方法について検討している。	コロナの蔓延もあり、保護者同士の関わりが作れそうなきっかけが提供できなかつた。できる方法を検討したい。
	34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		また、対応した後は保護者に詳細に意図を説明したりそれに対するお子様の様子や今後の方針について相談、提案し合意の上で保育にあたるようにしている。	保護者会や参観が開催できていない。オンラインなど方法を検討していきたい。
	35 定期的におたよりやホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
非常時等の対応	19 防犯対策、感染症予防、非常災害時対応方法について、保護者に周知・説明されていますか。	11	2		
	20 新型コロナウイルス感染症対策は徹底されていましたか。また、緊急事態宣言発令時の対応について等、不安はありませんでしたか。	11	2		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	12			1

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	3	1	
	23 事業所の支援に満足していますか。	13			

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。



### 事業所における分析・協議・改善案の検討結果

